

西川に子供たちの歓声ひびく

加茂里山通信

平成29年
秋号

発行 市原商工会議所
加茂里山通信編集部
編集長 征矢貫造



日光さうめく平滝の罎穴(おうけつ)で魚釣り

目的が明確化し具体性を帯びると、何をいつまでにどうやってなすべきが見えてきて行動が迅速化されます。以前から加茂活性化推進機構(加茂活性化ネットワーク)が進めてきた古敷谷川支流の西川の整備ですが、「みんなが入れるように道を確保してきれいにしよ



見事な木道です

い状態にしました。さらに倒した杉の木で木道をしっかりとえましました。(土地や杉の所有者の小宮さんが率先して活動し、協力してくれました)そして西川自体も何度かの流木や倒竹の片付けなどを経てきれいになりました。そうしたみんなの努力の結果、小さな子供でも川まで降りられるようになりました。

8月5日の雲一つ無い快晴に恵まれた日に、鶴舞と加茂の学童の子供達と先生方30人余りがここにやってきました。子供達は注意すべきことを聞いた後、グループに分かれて、靴に荒縄をまきました。西川の平流はゆるやかな坂になっていること、川の中は砂ではなく岩なのですべりやすいためです。罎穴や川幅の狭くなったところで釣りをし、ハヤを釣り上げたり、川を上流に向かって歩いて行ったり、2時間近くをゆくり楽しみました。陽光のキラキラする中で子供達のシルエツトが映え、おそろくは何十年と聞こえなかつた子供達の歓声が響き渡りました。お昼には何人も手伝いの人たちが準備してくれてあったバーベキューを、小宮さん宅前の広場で楽しく食べました。この日子供達の中に楽しい思い出がたくさん残ったことと思います。

ところで、杉を伐採したところにその杉を使ってテーブルが作られていたのですが、後日ここに今回のプロジェクトに関わった大人達が集まり、電柱や電線すら見えない秘境のようなこの場所で、ビールを飲みながらバーベキューを楽しみ、過目の労を癒しました。(征矢里山通信員)



新たなパワースポットか!

奇跡的なハート形の罎穴



まずは全員で朝の挨拶から

精を出し、清掃活動にめながら、滝湖や初秋の景色を眺めながら、60名が高滝湖水辺のクリーン作戦

市原南ライオンズクラブではライオンズ奉仕デーに合わせ、毎年市民の水がためである高滝湖周辺の清掃作業を実施しています。今年も9月24日(日)晴天の中、午前9時から11時までの2時間、日本ボーイスカウト市原第5団、地元老人クラブ等11団体

高滝湖水辺のクリーン作戦

今年で13回目を迎える小湊鉄道沿線への種まきが9月23日(土)に実施されました。前日からの雨にも負けず、お彼岸の中目にもかかわらず、千人を超える多くの皆さんの参加をいただくことができました。ちょうど種まきを始めるころには雨も上がり、中には赤ちゃんを抱いたお母さんや、小さなお子さんを連れたご家族もあり、加茂の里山に笑顔と楽しげな声があふれる恒例行事となりました。お昼には旧白鳥小学校に参加者が集合。里山活動団体の特製カラーが振る舞われ、舞台では小湊鉄道の歌声列車のスタッフによる楽しい時間も設営され、歌声がこだましていました。

今年も種をまきました



ゴミを集積していきます

良い汗を流しました。この行事は平成2年に市原南ライオンズクラブの25周年記念事業として開始され、今年で28回目を迎え、今では恒例行事として地域に定着してきております。最近では以前と比較して湖周辺のゴミが少なくなりました。うれしく思います。今後も地域諸団体の協力を得ながら環境美化に努めてまいります。多くの皆様の参加をお願いします。(河辺龍雄里山通信)



グッドデザイン賞を受賞しました

小湊鉄道の石川社長が挨拶の中で報告されていましたが、グッドデザイン賞の事務局からお誘いがあったので、申請をされたそうです。グッドデザイン賞は自動車や文房具など、いろんな商品の中から優れたデザインのものを表彰する「G」のマークでおなじみの賞です。向こうの事務局曰く、銚子と沿線に広がる里山の風景、それを支える人々、そのすべてが優れたデザインに該当するという事だそう、10月4日には晴れて受賞の運びとなりました。南市原の景観を守る皆さん全てがいただいた賞だと思います。(天曾根下里山通信員)

リポート アート×ミュージック×食の芸術祭

今年の新年号でもお伝えしたように、この地域の「いちほアート×ミュージック」を始め、今年はいくつかの地域芸術祭が開催されました。「北アルプス芸術祭」「奥能登国際芸術祭」「横浜トリエンナーレ」「中ノ条ビエンナーレ」そして宮城県石巻と牡鹿半島を舞台にした「アポシーアト・フェスティバル2017」。



これを8月末に観に行くことが出来ました。(リポートはrebornで生まれ変わりや、再生、そして復活などを意味します) この芸術祭に興味を持ったのは2点ありました。多くの芸術祭がアートディレクターに芸術の専門家を配しているのに対し、ここではこの芸術祭の提案者であり実行委員長と制作委員長を兼ねているのが音楽家の小林武史氏で、「アート」と「音楽」と「食」をテーマにしていたこと。場所が東日本大震災で大きな被害を受けた石巻と牡鹿半島であり、復興と地域振興につながる様々な循環を生み出すことを目的としていたことでした。

海岸の芸術作品

最初の日は真つ青な空の快晴で、まず海を見たいと思つたので石巻市街は後回しにして牡鹿半島の方に行きました。レンタカーのラジオで知つたのですが、この日まで3日間雨模様であつたということ



で本当に欠乏の快晴であつたらしく、日曜日とも重なつて牡鹿半島にも多くの人が出て、牡鹿ビレッジでは車も止められず、食堂も並んでいる状況でした。この食堂「はまきいさい」で昼食を考えた



走りながら他も探したのですが結局なかなかお昼を食べ損なつてしまいました。(実は次の日、もう一度チャレンジと思ひ行つたのですが、ガイドブックには期間中休みなしとあるのに休みになつていました。)

里山からの発信

牡鹿半島はリアス式海岸で、ほとんどの海岸線は切り立った崖のようになつているので、作品展示の会場である海岸には道路から坂道を下つていかなければならなく、雨の続いた日々では足下が悪く大変だつたらうなと思えるような道筋でした。結構な勾配のある上に土が滑りやすく、しかもヒルとマダニに関する注意書きも散見されました。高低差100メートル以上のところを2カ所めぐりました。雨模様だつたら本当に大変な思いを覚悟して行かなければならなかつたでしょうが、快晴で足下も比較的よく、ヒルに付かれ



調和していました。しばし時を忘れるひとときでした。車も入れない山中にあつた桃浦小学校跡地の脇を通り下つて行つた先にあつた浪田浜は、本当に小さくこも崖と崖のあいだにあつたのですが、ここには青木陵子と伊藤存の様々な作品が海岸に近接する林と石の所々に置かれていました。

街中の音楽祭

石巻駅前をレンタカーで出るとき気になつていたので各所から楽器の演奏と歌声が聞こえていたことでした。実はこの市街地で「トリコロレ音楽祭」が開催

され、駐車場などを利用して各所で同時多発的にコンサートが開催されていたのです。これを聴きたかつたので早めに市街地に帰り、街を散策して演奏を楽しみました。歩いてみて気がついたので駅前の一等地を含め街中の至る所に駐車場があつたことでした。東日本大震災と津波の被害で石巻市街地だけでも全壊家屋数は18000を超えました。破壊された家屋の更地が多く、の駐車場になつたのではないかと考えられました。



牡鹿半島の先端へ

次の日は、もう一度牡鹿半島に向かい更に奥を目指しました。その途中で通つた鮎川浜はまだまた復興の途中で津波の爪痕も残り、重機があちこちで動いていました。鮎川浜は8.8メートルの津波に襲われたところ

です。当時の写真で見ると鮎川港から続く地区の家屋のほとんどが破壊されてしまつたのですが、象徴的だつたガソリンスタンドも営業しており、仮設の商店街にも車が多く止まつていました。ここから更に進んで御番所公園に上がつていくと展望が開け、金華山を望むことができます。ここに草間弥生の比較的大きな作品が野外展示されていました。金華山を背景にした山の上の展望台の隣という立地条件のよさと、彼女独特の水玉と色彩として造形は圧巻でした。この日も

天気は良く展望台からの眺めは最高でした。さら牡鹿半島を奥に進んで最期の展示会場となつていたのは「ホテルニューさか井」でした。傑作だつたのはこの屋上の青空カラオケで、目の前の金華山に向かって一人カラオケするというものでした。受付の女性スタッフが聞いてみたら一人でやつてきてカラオケをやつていく人は結構いるとのことで、ホテルの下の広場の作品を見ていた時にも屋上から気持ちよさそうなカラオケが聞こえてきました。

このホテルから先はどうなつていようかという興味があつて、試しに道を車で更に進んでいったのですが、人家はまったくなく道路は木が覆い被さつて暗く、すれ違う車もなく、ただ山の中の道が続いているという感じでした。しかし考えてみたらこの芸術祭があつたから牡鹿半島の突端まで来たのであつて、そうでなかつたら来る機会もなかつたかもしれないと思ひ当たり、この芸術祭の目的の一つにすでに該当していたことに気づかされました。

市街地に戻り今回の芸術祭の拠点となつた「リポートアートハウス」に行きました。ここは震災前まで病院だつたところで、会期中はアーティストやボランティアの活動拠点となつたところです。このバルコニーは何とも言えない不思議な感覚を与えるもので、無数のバルーンが鏡面に囲まれた空間で浮遊し映像と音と光りが加味されたものでした。

そつて次のため

この芸術祭を見て歩き再認識したことがあります。自分が2日も昼食を食べ損なつたこともあり、食の確保はやはり大事だと思つたこと。アートミックスでも、他から来た人たちにとつて里山や山中や海岸沿いで食事できる場所がどこにあるのかは重要な問題だといふこと。そういえばアートミックスの期間中に

「どこか食事の出来る場所はないか」と何度か聞かれたことを思い出しました。又、限られた時間の中で効率的に見て回るためには、事前にガイドブックやネットなどで場所や作品・コースなどを把握しておく、自分が何を体験したいのかを明確にしておく必要があること。ごく当たり前のことですが、この二つは大事なことに思えました。 天気にも恵まれたこともあり、石巻市の2日間を楽しく過ごすことができました。(征矢里山通信)

商工会議所加茂支部 米を贈る

伝心柱278号にVONDS市原ソフトボールクラブの紹介が載つていました。牛久の寮で生活し、仕事のあと3時から練習に明け暮れていて、日本一を目指しているとのことでした。そして監督の食の支援をしていただきたいという言葉の紹介と共に「食の応援の大募集」がされていきました。市原商工会議所加茂支部ではこの記事を元に話し合い、チームを応援して

いこうと決めました。何を提供しようかとの話になつた時、一番喜ばれるものは「お米」だということになりました。時期的にも新米がとれたところであり、メンバーの中にも生産者がいたので好都合でした。連絡を取り、練習をしている三和運動広場で渡すことになりました。ユニフォーム姿の選手達が勢揃いしてお米の前でみんな

で記念撮影。よく日焼けして元気いっぱいの笑顔でした。かなり遠くから来ている選手もいるとのこと。帰り際に、気がついたら選手全員が1列に並んでいて、みんな手を振つて見送つてくれました。



後日、渡辺監督から礼状が届きました。

「・・・」 この度は、お米を頂戴し誠にありがとうございました。早速チームの皆と喜んで、賞味させていただきます。これから地域の皆さまに愛されるチームを目指し、日本リーグへの加盟、そして日本一というチームの目標が達成できるように、更に努力を重ねてまいります。これからも、支援、協力のほどよろしくお願ひいたします。・・・」

加茂支部では今回で終わりでなく、次の支援も予定しています。(征矢里山通信)

こつもと紀行 田淵の逆転地層 天然記念物指定に向けて

中原市では田淵の逆転地層の国の天然記念物指定と
その後の活用に向けて、付属機関を設置して取り組む
ことにしました。田淵の養老川沿いにある地層は約77
万年前の地磁気逆転が確認できる、世界的にも大変希
少なものとされていることから、現在、国の天然記念
物指定に向けて取り組んでいます。

本来、天然記念物の指定は保存保護を第一義として
行うものとされています。しかし、この地層について
は、地球の環境変遷を調べることができる学術的に高
い価値のある地層であり、保存保護と同時に、学術発
展のための活用という側面を併せ持つ、珍しいケース
となります。つまり、研究者等による試料採取（地層
のサンプル採取）等を目的とした現状変更（掘削行為）
を想定しておかなければならないことになり、天然記
念物として前例のない特殊事例となります。

国への申請にあたり、保護と活用の両面から基本的
な保存活用方針の策定が求められており、また、指定
後には保存活用計画を策定する必要があることから、
中原市では地質を専門とする研究者等学識経験者を構
成員とする、地層の保存活用に関する調査・審議を行
う機関を設置することになりました。

① 天然記念物に指定する意義

・世界的に貴重な地層を文化財保護法の下に取り扱
うことができ、
むやみに地層
を掘削するな
どの行為を防
止・抑制でき
る。
・地層の保存
保護、活用に
関する施策を
国庫補助事業
として行うこ
とができる。



② 地層の保存活用の意義

・地球の歴史と環境変化などを身近に観察できる場所
であるため、地質などの専門家にとっては希少な研究
材料として、市民や学生にとっては理科・地学などの
生きた教材としての活用が可能
・地層の周辺には、養老川の流れが造り出した地形
（おう）穴（けつ）、用水路として造られた素堀りの
トンネル、落差約8mの不動滝などの見所があり、
一帯を地域資源として活用が可能

③ 保存活用に向けた市の取り組み方針

起ったことが
判明している。
田淵の地層は、
77万年前を示す
火山灰層（白尾
（びやく）層）
を境目として逆
磁極期（方位磁
石のN極が南を、
S極が北を示す
期間）から正磁
極期（現在と同
じ磁極で、方位磁石のN極が北を示す期間）への推移
がわかるもので、その厚さは約10mに及んでいる。

2 天然記念物

文化財の種別の一つで、学術上の価値が高く、日本の
自然を記念する動物、植物、及び地質鉱物
【県内の地質鉱物関連天然記念物(抜粋)・銚子市の
屏風ヶ浦、印西市の木下(きおろし)貝層】

3 地質時代区分境界

地球の46億年の歴史を、地層中に残された化石などか
ら、生物や環境の変化に基づき区分した年代を「地質
年代」といい、このうち約58万〜約1万年前までが
「更新世」と呼ばれ4つの時代に区分されている。
地質時代を区分する境界は、最も明確にその痕跡を残
す場所に対して世界で「箇所」つ決められ、国際標準
模式地として認定される。
約77万年前の更新世中期と前期の境界は、最後の地磁
気逆転が見られるところにあることが決まっており、
中原市のほかイタリヤ南部の2箇所が候補地となっ
ている。



・地層周辺を地域資源として環境整備し、交流人口の
増加及び地域の活性化につなげる。

④ スケジュール(案)

今年9月に付属機関設置。来年1月、国へ申請。6
月頃に国の文化審議会の答申を受け、認められれば10
月頃の指定となる見込み。
(大曾根T里山通信員)

解説

1 地磁気逆転

地磁気の逆転は地球深部で生まれる磁場が逆転する現
象で、過去約36万年の間に少なくとも11回あり、最
近では更新世の前期と中期の境界となる約77万年前に

里山の「馳走」秋

食欲の秋は美味しいものがいっぱい！
まずは「栗」はん」「茄子ときょうもみ汁」
「やたら漬け」

※しその実が固く
なる前にこそげ取
り、茄子、きゅう
り、茗荷、しょう
がなどの刻んだ野
菜と混ぜて塩でも
み、漬物器で押す。
一晩置くと水がで
るので、よく絞り
冷蔵庫で保存する。



「栗の渋皮煮」

※栗は拾ってすぐの皮の柔らかいもの、あまり大粒の
ものより中くらいの
粒がいいと思ひ
ます。一度湯につ
け渋皮を傷つけない
ように皮をむく。
鍋に栗とかぶるく
らいの水、重曹を
入れて火にかけ、
煮立ったら弱火に
して15分煮る。水
を流しながら栗の
筋をきれいにす。
（水がきれい
になるまで）栗が
柔らかくなってい
るのを確認してか
ら、2回に分けて
砂糖を入れる（栗
の6割くらい）しよ
うゆ大さじ1杯
（べつ甲飴みたい
な味になります）
お好みでブランデー
を入れる方もいま
す。



（こ）を丁寧に茹でてこぼす作業を3回くらい繰り返
す。



(大曾根R里山通信員)

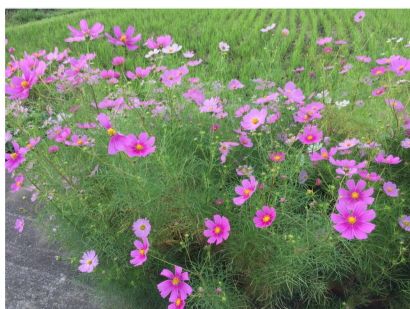
人と環境が一体となって大切な未来へ 自然環境と人間との調和を目指して



杉田建材株式会社

本社 市原市万田野 26 TEL 0436(96)1311
市原支店 市原市惣社1-1-22 TEL 0436(24)0511
南総支店 市原市牛久450-1 TEL 0436(50)0111

URL <http://www.sugita-group.com/>



昭和村文化祭

日時 10月29日 9:15~14:30
会場 市原市万田野 社会福祉法人 昭和村
内容 五月流千都勢雲舞踊
加茂学園吹奏楽部発表
加茂地区内保育園 加茂学園児童・生徒の
作品展
フリーマーケット・バザー等
前田麻里絵画展
VONDS市原も来園します。

加茂学園は今

水泳大会連覇！

七月二十六日に、牛久小学校を会場に市原市小学校水泳大会が実施されました。Eブロック大会では三和・南総・加茂地区の十校が競い合いました。



みんなの気持ちが一になった勝利だね

加茂学園は平成二十八年度の大会で優勝しており、本年度は「目指せ二連覇」加茂の力は無限大「をスローガンに練習に取り組んできました。加茂学園の水泳部は四〜六年生の子どもたち全員が加入しています。泳ぎが得意で大会で上位入賞を目指す子ども、泳力を伸ばして選手になろうとがんばる子ども、基礎的な泳ぎを身に付けようと努力する子ども、一人一人が自分の目標に向かって精一杯泳ぎ込んできました。先生方も全員協力体制で指導にあたりました。

大会当日は個人種目で上位入賞者が多く、得点をどんどん積み重ねていきました。リレーでは女子フリーリレー、男子フリーリレー、女子メドレーリレー、男子メドレーリレーの全四種目ですべて一位を獲得しました。応援席の子どもたちや先生方、応援に来ていた保護者の方々も大喜び。最終的には二位に大きな差をつけて優勝し、二連覇を成し遂げました。



子供たちの勝利に歓喜にわく応援席

部長の小宮君は平泳ぎの選手です。明るい性格できつい練習でも笑顔をやさや、元気にみんなを引っ張ってくれました。

副部長の杉田さんは背泳ぎのリーダーです。誰に対しても優しく、練習メニューを指示したり、ターンの仕方を教えたりするので、後輩から頼られる存在です。

建設機械体験学習

子どもたちに建設業の仕事を感じてもらいたいという目的で、千葉県建設業協会青年部と千葉県魅力ある建設事業推進協議会の共催で、六月二十八日に加茂学園で建設機械体験学習会が実施され、キャリア教育の一環として全校生徒が参加しました。ヘルメットをかぶった子どもたちは「高所作業車」「振動ローラー」「油圧ショベル」という三種の重機を体験しました。プロの方から注意事項を説明され、一緒に重機を動かすと「すごい」「かっこいい」「難しい」など様々な歓声をあげていました。



操作一つですごいパワー発揮！

生徒会長澤野さん「優しく教えていただき、建設機械や工事などを身近に感じることができました。建設関係の仕事に就きたいという人も増えたと思います。」

四年生「高所作業車に乗ったら、すごく高いところまであがりました。最初はこわかったけど、みんなが小さく見えておもしろかったです。もっと高く上がってほしかったです。」

五年生「ショベルカーで砂を持ち上げるのは難しかったです。でも、レバーに慣れて少しできるようになりました。貴重な体験ができて嬉しかったです。」

(矢野里山通信員)

市原商工会議所ニュース

ゴルフ大会で市原ブランド菓

平成29年9月1日（金）〜3日（日）までゴルフ5カンツリー（オークビレッジ）で行われた女子プロゴルフトーナメントにて『いちほら国府ブランド』のPR活動を行って参りました。今回のゴルフ5カンツリーは各ホールがアーサー王伝説をモチーフにデザインされており、ホール毎に伝説にまつわるネーミングがあるのが特徴で、伝説の由来にちなんでバンカーや池、モニメントなどが配置された戦略性の高い全国屈指の難コースです。台風15号の影響による雨と強風により、出場選手はかなり苦しんでいるようでしたが、3日目の最終日は晴天に恵まれ、市外からも多くの方が試合を観望しに訪れていました。



商工会議所観光部会といちほらブランド委員会の方々に「協力を頂きながら、市原が誇る名品の数々を来訪者に紹介することが出来ました。商品を購入頂いた方からは『どこで購入できるのか？』『市原市にこんな商品があることを今まで知らなかった』といった声が聞かれ『いちほら国府ブランド』を市外の方に知って頂く、良い機会になりました。」

(稲崎里山通信員)

次回は1月25日発行予定です。

情報提供、取材依頼はお近くの通信員へ。メールでも受け付けます。

記事に関するご意見、お問い合わせは左記へ。

市原商工会議所
0436(22)4305 担当 霜崎
Eメール shimizaki@ccci.or.jp

・中秋の名月必ずしも満月にあらずで、中秋は10月4日でしたが満月は6日。そしてこの欄の写真は満月の次の夜の十六夜（いざよい）の月。今年もきれいに見えました。気候も良く、ススキがよく似合っていて、月を眺める余裕のあるこの時季だから数ある月の中で名月となるのか。そこはいざ知らず、晴れた夜空に月の輝く日々で、日ごとには秋は深まります。



編集後記

・この秋、加茂地区で曼殊沙華の花の群生をいくつか見ることができました。以前紹介したことがありますが、奈良県明日香村ではこの曼殊沙華を見るために秋には多くの人が訪れています。21ヘクタールの棚田に咲き、彼岸花祭りも開催されています。



絶えないといいますが、この辺と変わらない田舎のぼのある田舎の風景に何かの工夫や仕掛けがあれば多くの方が訪れるようになる一つの好例です。

(征矢里山通信員)

房総・養老深谷の地酒お土産は

養老深谷駅前

角屋商店

養老深谷観光協会窓口

市原市朝生原181

TEL 0436-96-1108

FAX 0436-96-0052

愛車のある幸せな暮らし

応援します！

安全・安心

有限会社 全日本ロータスクラブ加盟店

小茶自動車

市原市石神227

TEL 0436-96-0482

FAX 0436-96-1293

皆様と共に歩む観光

いよいよワカサギ釣り！

高滝湖観光企業組合

TEL 0436-98-1277